

## 日光総合会館検討専門部会会議録

件名	第一回日光総合会館検討専門部会		
日時	令和元年5月27日(月) 10:00~11:45	作成日	2019年5月31日
場所	日光行政センター(日光公民館) 2階視聴覚室	記録者	資産経営課 斎藤
<b>出席者</b>			
<日光市> 上中副市長 安西財務部長、小林資産経営課長 星公共施設マネジメント係長 資産経営課公共施設マネジメント係職員		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙)  (敬称略)	
<b>議事内容</b>			

## ■配布資料

第一回日光総合会館検討専門部会 資料1、資料2、資料3、資料4、参考資料①、②、資料5  
 別添参考資料：公共施設マネジメント計画(概要版)、公共施設マネジメント計画実行計画

## ■議事録

## 1. 開会 ～上中副市長挨拶～

「第1回日光総合会館検討専門部会」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

このたび日光総合会館検討専門部会員を委嘱させていただいた皆様におかれましては、本日も暑いなか、ご多忙中にも関わらず、本部会員をお引き受けいただきまして改めて御礼申し上げます。

また、首都大学東京の山本先生、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの西尾先生におかれましては、当専門部会のアドバイザーをお引き受けいただき、誠にありがとうございます。ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。

さて、日光市では急激な人口減少や少子高齢化の進行に伴いまして、税収の減少や公共福祉等にかかる費用等の増大によりまして、財政状況が非常に逼迫をしております。これは地域特性が異なる5つの基礎自治体が合併したことで、様々な市民ニーズに対応するための新たな財政需要が生じたことが理由に挙げられますが、それと同時に合併によって肥大化した公共施設の削減が合併以降ほとんど未着手のまま、その維持管理費等の負担が重いことも大きな要因と言えます。こうした公共施設は、合併前から5つの各市町村自体がそもそも財政状況が厳しい状況にあったということもあって、その多くが適正な改修や長寿命化や耐震補強、もしくは削減がされてこなかったという実情もあるのですが、今後この老朽化が進む施設の本格的な大規模改修や施設の更新が一度に集中するという時期を向かえるという切迫した現実は避けられないことと言えます。このままの状態を漫然と見過ごしてしまえば、市の財政は破綻に至ることになってしまいます。今日光市の財政は県内14市の中で、下から2番目に低いのが現実です。もちろん先程申し上げました通り、公共施設の肥大化のみが財政悪化の要因ではある訳ではありませんが、全ての公共施設を現在の姿のまま維持し続けることは、市政経営に大きな負担となって、ひいては、真に必要なサービスにまで影響を及ぼしかねないということになることは、必定であります。

このため、市では「公共施設マネジメント計画」また「公共施設マネジメント計画実行計画」を策定し、次の世代への負担を減らす適正な公共施設を目指して、公共施設の有効活用と適正配置、市政経営の規模にあった改善に向けての取り組みを進めているところであります。

こうした中で、日光総合会館を含む文化会館等3施設につきましては、公共施設マネジメント計画実行計画を先導するモデル事業の一つとして、費用面、機能面や利用状況など、様々な視点、角度から早

急に検討を進めるべき施設と位置付けまして、庁内において検討を進めてきた経緯があります。

このうち、日光総合会館の検討経緯につきましては、昨年8月に市内に3つある文化会館等施設の今後のあり方について、市の方針をまとめて、議会の方へ報告をし、その後2回程地域の説明会等を開催したところであります。

しかしながら、この説明会の場では、市の方針とは若干異なる意見も頂戴をしまして、またこの3月には日光地域自治会長会並びに日光選出市議会議員さん連名で要望をいただいたとこともあり、当該施設のあり方についての一步踏み込んだ検討については、市民の皆様と共に理解を深めながら進めるべきとの考えから、この専門部会を設置したしだいであります。

この後、担当職員の方からもう少し具体的な現状の説明があると思いますけれども、これまでの経緯も含め、部会員の皆様には、市民の代表として、情報や課題を共有していただきながら、このエリアをどのように活用することが地域の将来にとって良いのか、どうすれば次世代の負担にならないような未来像が描けるのかという視点に立っての議論と検討をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。」

## 2. 部会員・アドバイザー紹介

- ・出席委員から自己紹介
- ・アドバイザーの紹介並びに挨拶
- ・事務局自己紹介

## 3. 部会長・副部会長選任

・部会長の選出については、経験が豊かであり、専門部会のなかで色々な事象に精通している日光地域自治会長会の会長である岸野稔氏を推薦する意見があった。また副部会長の選出については、日光の文化に精通しており、日光をよく知っている文化協会の日光支部長である千田孝明氏を推薦する声があり、部会員に両者の選任について諮ったところ全会一致で承認された。

## 4. 議事

### ○岸野部会長挨拶

「部会長を務めさせていただきます岸野です。非常に難しい問題かと思しますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。」

### ○千田副部会長挨拶

「副部会長を仰せつかりました千田と申します。よろしくお願いいたします。」

### ○部会長

「それでは、部会長として議長役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。まず現在出席をいただいております委員の数は、「15」名で、定足数に達しておりますので議事に入りたいと思います。

議事に入る前に、本日、傍聴の申出がありましたので、これを許可したいと思います。意見はございますか。

意見がないようですので、傍聴を許可するという事でよろしくお願いいたします。

それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。それでは、次第(1)日光総合会館検討専門部会の役割について、事務局より説明願います。」

(1) 日光総合会館検討専門部会の役割について

- ・・・事務局より、資料1、資料2を用いて説明。

### ○部会長

「ただいまの説明内容につきましてご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」

**○部会員 1**

「日光総合会館のまとめ、9月頃までと説明のなかにはありましたが、一体いつ頃までに総合化会館を何とかしたいというのはあるのか。要するに工事にかかるのか、改修にかかるのか、解体するかその辺の目途というのはどの位に立てているのか」

**○事務局**

「今回の専門部会での検討内容は9月末を目安にということで、ご説明させていただきました。その後、令和元年度の下半期、10月から3月の中で、専門部会でまとめさせていただき素案をもとに更に庁内で検討させていただき、実施方針（案）という形でまとめたのち、その後年度明けた位には方向性がほぼ決まりますので、決まった事業内容に基づいて、事業者選定という形での資料とさせていただきたいと思っております。あくまでも目安というところにはなりますが、今、日光総合会館が指定管理という形で民間の方で管理をしていただいています。その期限が令和3年3月31日、令和2年度いっぱいまでは指定管理期間でありますので、指定管理期間が終了するタイミングというところが一つの目安となってくると考えているので、それまでにこの専門部会での検討内容を進めさせていただいて、方向性が出ればその後の具体的事業内容も含めて令和2年度いっぱいまでには進めていきたい。」

**○部会員 1**

「スケジュール感については、了解した。

元々の日光総合会館に関しての市の方針はどういう方針だったのか。市長が説明会等で話をしたと聞いているが、元々市がどのような考えだったのか確認しておきたい。」

**○事務局**

「この後資料3、資料4等を使いまして、そういったところも説明するところにはなりますが、まず、少し簡単に説明しますと、昨年度市の方針として、ステップ1、ステップ2というところで、利用状況であるとか、施設の耐震性という所が未確保だった日光総合会館と藤原総合文化会館については、早期に廃止という形で調整を図るという形、その後ステップ2としまして、新たな文化会館施設整備のあり方については、平成30年度中を目途に庁内での考え方を調整しますということではありましたが、日光総合会館、藤原総合文化会館の検討の方も内容を密にしていくな必要も出てきまして、ステップ2の方は検討が停滞しているところではあります。まずは、日光総合会館と藤原総合文化会館をどうするのかというところを早期に検討していきたいという方針を示させていただいたところです。」

**○部会長**

「他にご意見等ないようですので、アドバイザーの先生方からございましたらお願いいたします。」

**○両アドバイザー**

「この時点では特にありません」

**○部会長**

「それでは、次に（2）日光市の現状課題と公共施設マネジメントの取組みについて事務局より説明願います。」

- (2) 日光市の現状課題と公共施設マネジメントの取組み
- ・・・事務局より、資料3を用いて説明。

**○部会長**

「ただいまの説明内容につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」

**○部会員 1**

「日光総合会館のことについては、これから説明があるのですか」

**○事務局**

「この後議題の3点目で資料4を使いましてご説明いたします。」

### ○部会長

「別添資料のマネジメント実行計画の説明はそれぞれ各委員さんに目を通していただくということで、よろしいですね。かなり内容がたくさんありますので、今の概要だけではわかりにくいという方は、後でこの計画を是非お読みいただければと思います。」

### ○部会員 2

「今の説明だけでは、暗い気持ちになると思うのですが、日光、特にこの日光地域と言うのは、観光で食べている地域でありますし、政府は観光立国としてやろう、インバウンドも力を入れてやろうと言っている中で、儲かる地域に出来ると思う。縮小縮小だけでいってしまうと、逆に市民サービスの部分とかも悪くなってくると思うので、逆に早期に破綻してしまうのではないかなと思う。市民がどこに住むかは自由な訳だから、例えば私なんかは今のお話し聞くと、引っ越ししようと思ってしまうよね。そういう市民の方っていると思うので、どうやって財政を良くしていくかということも、今論点をあててやっていかないといけないのではないかな。特に施設の改修というのはお金がかかりますから、長期的なビジョン、日光市をどうしていくのか、これからどう展開させていくのかということまで踏み込んできちんとやっていかないと、例えば10年後に日光市が非常に良い状況になってきた時に、壊さなければ良かったというのが困ると思う。そういう風にならないように、もう少し踏み込んできちんとみんなで考えていく必要があるのではないかな。」

### ○事務局

「確かに今説明した中には、財政的にも人口的にもというところで、暗い話が多かったと思うのですが、あくまでも予測ではありますが、そうなっていった時に少しでも日光市が良い形でつないでいかなければなりませんので、そういった視点からも公共施設マネジメント計画、実行計画というのは、40年先を見据えた形で施設をどういう風に整理統合というか、将来負担にならないような形にしていきたいと思いますということで策定させていただいておりますので、今回の日光総合会館につきましては、先程担当の方から説明させていただいたとおり、実行計画のなかのモデル事業の一つとして先行して進めさせていただいているものになります。確かに場当たりのことではなく、長期的な視点でやっていきたいと思っております。」

### ○部会員 2

「その件に関して、時勢時流って変わっていくものだと思う。やっぱり行政が考えて、こういう方向でやろうと言うのは、私は正しいと思う。このまま行ったら駄目になってしまうから、それを何とか抑えて、ちゃんと運営していけるようにしていこうというのは当然のことなのだと思う。ただ、それだけではダメかなと思います。今日も傍聴で議員さんたくさんいらっしゃいますけれども、議員さんも時流を見据えて、どうやったら良いのか、長期的なビジョンで日光市をどうしたいのか、どう運営したいのか、どう儲けたいのか、そこも考えてやらないといけないと思う。例えば、地域特性に合わないことをやって、それで儲からないと言っても、儲かる訳がないので、やはり地域特性に合ったことをやって、それに対してどうお金を儲けて行くかを考えていかなければ、儲かる訳がない。それを日光市は今までやってこなかったと思う。私達も二社一寺さんのお膝元で商売をやらせていただいて、大した努力もしないで今まで来ているとおもっているのですが、やはり、これから日本全体の人口が減っていきますし、どこから観光でお金をもってくるのかとなったら、新たな考え方が必要になってくると思いますし、例えば今の総合会館は場所的には良い場所にあると思うんですよ、それを単に文化会館としての活用だけで、利用率も低いし、儲からないからやめてしまうというのは違うのではないかなということもあるんで、我々市民だけの話でもなく、議員さんだけの話でもなく、行政だけの話でもなく、皆さんがどうして行くのか、本当はこういった固い席ではない方が良いのでしょうか、腹を割って話さないと良いもの出来ないのではないかなと思う。」

### ○部会長

「今のご意見等は次の3番目の議題にも具体的に関わってくるかと思っておりますので、市の回答は次の3番の説明を含めてでよろしいですか。

あと、アドバイザーの先生方から何かございますか」

### ○山本アドバイザー

「今のお話を聞いてですね、他のところで市民1人当たり、約2平米というところでも、公共施設面積を30%以上削減しようという話が出ています。これはやっぱり、公共サービスをいかに低下させないかという動きをされているので、小さなところだと、もう既に市町村合併したところで、そこは人口的には2万数千人の町なのでたいしたことはないのだが、そこでも中学校は1校、小学校3校という状況で、もう全て終わって、更に2回目の再編を考えながら、市民のサービスをどう低下させないかというところに注力されている例もありますので、そういうことも踏まえながら、この後の説明もあるので、全体的には人口が減っていくので、減らざるを得ないなかでどうするかということを考えになるんじゃないかと思います。

### ○西尾アドバイザー

「公共施設の問題と言うのは、全国どこの自治体でも共通で抱えているというお話がありましたけれども、その中でも、日光市の状況は特に厳しいのではないかと思います。先程来話にありますように、全国平均の倍とか。でもなぜそうなってしまったのかということを考えておく必要があるかと思っていて、これはやはり人口が増えている時に増えている人口に合わせて施設を造ってきたので、それで人口が減ってくるという状況になったら、そこはどうしても無駄が出てきてしまうのだと思います。人口が減ってきたのであれば、減った人口の状況に合わせて施設の規模を縮小していくというのは、サービスを減らすということではなくて、人口の規模に合わせたサービスにしていくという考え方も必要なのではないかと思います。最近出てきた言葉で「縮充」という言葉があるのですが、縮小、縮めて小さくしてしまうのではなくて、施設の量は人口に合わせて減らすんですが、サービスや内容は充実させるという考え方がありますので、マイナスのところだけを見るのではなくて、適切な水準に合わせる、スマートという言葉があるんですけど、スリムとかスマートって、スマートには賢いと言う意味もあるんですよ。スマートな形にスリム化をして、そのなかでいかにサービスを充実させていくかという観点で考えていけると良いのではないかと思います。

### ○部会長

「「縮充」ですね。ありがとうございます。それでは、あと委員さん方から特にございませんか。先程の説明にもありましたように、1ページの教育あるいは市営住宅とかの面積も非常に多いとか、これは何も文化会館だけでなく、他の施設も入ってくるのかと思います。我々は文化会館等に的は絞られておりますので。それでは、次に移りたいと思います。次第(3)日光総合会館検討の経緯等について事務局より説明願います。」

- (3) 日光総合会館検討の経緯等について  
 ・・・・事務局より、資料4を用いて説明。

### ○部会長

「ただいま日光総合会館の検討経緯ということで、説明があったんですけども、かなり具体的に色々なものが含まれております。先程から出ておりますサウンディング型の市場調査では3社が応募して、それについて色々意見を聴取したということになろうかと思います。あと参考資料として参考資料の①、②がございますので、それも合わせてお読みいただければと思います。今の説明に関しまして委員さん方からご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」

### ○部会員3

「我々がこれから検討していくにあたってのお願いなんですけれども、実はこういった資料で細かいものは出ておりますけれども、もう少し細かいデータを深堀していかないと原因が分からないというところがありますので、申し上げます。総合会館の運営に関する問題点とか論点が見えてこないために、具体的な数値を示していただきたい。例えば、利用率が44%で、1000人以上、1000人から400人、400人未満というデータがあるのですが、どのようなイベントをやったのか。その内容ですね。内容によっては、他の施設で代替えが出来るという事もありますので、その内容、どんなもので利用したかと言うデータが必要だと思う。それと、コスト関

係なのですが、施設維持に年間 8,700 万円かかっているということで、月にしますと、725 万円、日にしますと 1 日 24 万円かかっている計算になる。そのかかっている内容はなんなのか。どういう内訳でこの費用がかかっているのか。例えば節約すればというものもあるのではないかと、その中から分析すれば出てくるのではないかと見えます。後は利用率で 44%とありますが、開館日が年間のうち 308 日なんですね。ホールの使用が 135 日、これ割ったものが 44%ということで、実は開館しているのだけれど、173 日が遊休という状況なので、この遊んでいるのを何とかできないかということも論議の中に出てくるかと思しますので、もう少し深掘した細かいデータがこれから具体的な話し合いの中で必要なかと思しますので、その辺のデータを揃えていただきたい。よろしくお願いします。

#### ○部会長

「もう少し資料の詳細なものをということで、今出たのは、利用率の具体的な中身と、コストの中身、あと何か必要なものはありますか」

#### ○部会員 3

「耐震化の I S 値の 0.65 というのはどういう位置づけなのか。」

#### ○部会長

「耐震化のことについては、事務局今回答できますか。」

#### ○事務局

「部会員からいただいたデータの点ですが、今回第 1 回ということで、概要等にまとめたデータになっていますが、今後詳細な内容を検討進めていくうえでは、様々な数値のデータ等もお示しさせていただきながら、ご意見をいただく必要があるかと思えます。基本的なデータ、詳細データも含めて準備をさせていただき、次の部会までには用意を進めているところではございます。

耐震の I S 値につきましては、文科省の方で示している学校等の施設については、0.7 というものを超えなければだめという基準があります。0.65 というところについては、0.6 を超えていれば、とりあえずは良いというようにとらえている資料等もございます。藤原のような 0.4 のような数値になってしまいますと、いつ倒壊してもおかしくないというような数値ということでとらえていただければと思います。今日専門的なところを用意していなかったもので、イメージでとらえていただければと思います。」

#### ○部会長

「なかなかこれは専門的なところですけども、これは土木の方で資料は用意できますよね。」

#### ○事務局

「次回用意いたします。」

#### ○部会員 4

「今回の資料で見ると、まず、藤原と日光は壊しますということですよ。前回地域説明会の際の市長の話では、今市文化会館も検討の中に入っているということでしたが、例えば、今市文化会館が 3 館をまとめて建てなおすのか、今までのまま残るのかというのが良くわからない。利用率が低いから無くすけど、無くなった場合どこを使いますかというのに。今市文化会館大ホールと書いてあるということは、今までの文化会館を存続して、そこを使ってくださいと書いてあるのがちょっと良くわからない。文化会館どうするのかというのは、連携をとって、こういう場合は大きい施設、こういう場合は小さい施設ということになるのだと思うのだが、そこら辺の連携も視野に入れないと形になってこないのではないかと思いますので、今市文化会館がどうなるのかということが、まず一つわからない。

それから、代替えて日光行政センターの会議室等を書いてあるのですが、この場合、今までの経緯のなかで土日に使わせてくれというと、公用であると違うと思いますが、こういう場所は使わせないよということが多い。そういうものを考えて頂かないと、代替えという会議室等も無意味ではないかと思うのですが。」

## ○事務局

「今市文化会館を含めて、3館ある話をどうとらえているかというところですが。行政側としまして、ステップ1、ステップ2という形で段階を踏んでやらせていただく考え方のなかに、資料4の2ページ目になりますが、3館をまとめる形で検討を進めていたんですが、なかなかどこに1個にまとめていくのかを絞り込むのが難しいところがございます。全ての文化会館を無くしてゼロにしてということになりますと、ホール機能がなくなって、空白期間が出来てしまいます。そういったところで、日光と藤原については、耐震性であるとか、利用率とか、そういったところを含めていずれかの施設を1館の集約先として考えることは今現状の状況を鑑みると可能性としては難しいというところで、日光と藤原については廃止という形で整理をさせていただき、1館をどこにするのかというところは並行してステップ2という形で検討していく。その間、今市文化会館については、耐震化されていて利用できるというところで、つなぎで今市を使ってという形で示させていただいたとご理解いただければと思います。

当然1館集約してというところは検討しなければならないのですが、そこにはなかなか難しい選択が求められることから、ステップ1、ステップ2という段階を踏ませてもらったところです。2点目の行政施設はなかなか土日使えないというお話だと思いますけれども、例えば、こちらの建物につきましては、施設を整備する際に日光公民館と図書館と行政センター機能が一つの建屋の中に複合化して入っているということで、公民館については、土日も使えるということになるでしょうし、そういった意味では、こちらの施設を複合化して、土日に関わらず使えるというのが基本的な考え方かなと思っております。」

## ○部会員1

「総合会館廃止という方針が出ているというのはわかったのですが、取り壊した場合の利用方法なんですが、もし駐車場にするとすれば、だいたいどの位のスペースで車が入れられて、年間どの位の収益があるものなのか。財政的な見地から検討されているのかどうかお聞きしたい。」

## ○事務局

「最初のスケジュールのところでもお話しさせていただきましたが、本日はそれぞれの委員さんが色々聞き及んでいる中で、情報が統一されていないというか、ばらばらというところもありますので、現在までの状況について、情報共有を図るということで、基本のお話をさせていただいております。今いただきましたデータですとか、財政的なシミュレーション的なものですか、そういったものは、次回は利活用についての検討ということを考えてございますので、そういった中で、他の委員さんからもありましたようなデータも含めて、検討をしたいと思っております。先程、参考資料②のところ、日光地域の自治会長会と日光地域の選出議員さんからいただきました要望の方でも、400から500人規模のホール機能、多層階の駐車場ですとか、そういったものの要望もございまして、そういった点も踏まえまして、あと一体的に造って欲しいですとか、そういった点も踏まえまして、資料の方は用意をさせていただきたいと思っております。」

## ○財務部長

「繰り返しになってしまうのですが、資料4の2ページ目のところに出ている、今3つある会館をそのまま維持しておくと言うのはなかなか厳しいものがあるので、じゃあどうすると言った時に、耐震性とか利用状況とか考えて、藤原と日光については、運営をとめましょうと。そのまま置いておくとお金がかかってしまうので、そこも出来れば廃止した方が良いでしょうと、ではその間どうすると言った時に全部なくしてしまうと、何も出来なくなってしまうので、耐震性とかを考えると今市をつなぎ的に使うということで、当面は対応しましょうと。その3館をどうしていくかというところは新たな視点でもう一度考えなおす必要があります。今市を残すとかという既定方針ではなくて、現状を考えた時に今市を使うことで、後の2つは無くして、費用面の圧縮を図るというのがステップ1です。ステップ2の方は3館をどうするということを考えなければなりません。その部分が今まだ進んでいないので、現状でそのところをお示し出来ないのですが、それがステップ1、ステップ2の考え方だということです。今回のこの会議もそうなんですが、ステップ1の考え方をお示した時に、壊した後そこがどんな活用が考えられるのか、そのことを示さずにまず壊させてくれという話ではなかなか前に進まないでしょうというご指摘も

あって、そういったこともあって、一端更地にした時にどういう利用が出来るかそれを考えているのが、この会議もそうなのですが、今現状はそういうことです。その際の前提と言いますか、議論のたたき台的なところで、サウンディングと先程から言っておりますが、資料4の7ページに出ている、サウンディングの市場調査というのは、先程も説明しましたが、行政だけでアイデアを考えるとより、民間事業者でこの地域で可能性があることを教えてもらいながらたたき台をまとめていこうというのが、この調査になります。その前提条件として、①、②、③として、土地のみの利活用の提案を主にするという前提で動きます。駐車場というのは、ご要望もありますので、多層化が可能かというところを前提に考えて提案をしてくれと。あと、3番目が小規模ホールの機能、今ある総合会館がなくなったときに、大人数が集まれる場所が日光地域にはありませんので、そういった機能も、あの場所に取り込むことも可能かどうかという条件でサウンディングをかけています。その結果が民間事業者からすると、可能性はあるでしょうと、ただ、ホール機能については、収益のあがる施設ではないので、そこは行政の関与は必要でしょうか、そういった提案をいただいて、そんな状況になっています。そういったサウンディングの提案状況も踏まえて、この後総合会館をなくした後にどんな利活用が可能かということ、今回の専門部会というのは、その部分にテーマを絞っていただいて、ご検討いただくということを考えております。」

### ○部会員 1

「最後に、いわゆる総合会館の利用方法等々のお話しがでたんですが、我々と言うか、社寺の方で次席会議というのがありまして、今かなり、土日はじめ、お盆の時期、連休の時期大変道路が混みあってどうにもならないということで、これは総合会館については、是非廃止していただいて、全面的に駐車場化してもらいたいというような意見が社寺の方でまとまって出ました。従って、市の方で運営されればそれなりの収入があがってもよろしいと思うのですが、もしそれが不可能であるならば、社寺の方でその辺を引き受けてやることは吝かではないというような見解に至っておりますので、それだけ申し添えておきたいと思っております。」

### ○部会長

「参考意見ということでよろしいでしょうか。」

先程ありました資料4とあと部長の説明にありましたことの市の考え方とか、あるいは、サウンディングの結果とかは、我々の出した要望の参考資料②のところに具体的に載っておりますのでそれをお読みいただければと思います。その辺につきまして、アドバイザーの先生方からありましたらお願いいたします。」

### ○山本アドバイザー

「昭和45年と昭和56年に法令の改正があって、建築基準法等の改正がありまして、構造的に変わっています、それ以前とかそれ前後とかの建物は旧耐震という形になっているので、その辺踏まえていただければと思います。」

### ○西尾アドバイザー

「今回サウンディングということのご説明があったと思うのですが、これは非常に画期的なことじゃないかと思えます。従来は行政、市役所のなかだけで決めて、それを民間に委託するとか、あっても決めた後の計画に対して民間の意見を聞くということだったのが、決める前に民間の意見を聞くという、このサウンディングという仕組みは凄く大きな一歩の前身じゃないかと思えます。やはり、行政だけでは発想の限界がありますので、先程の委員さんの指摘にもあったように、どうやって、この地域を稼ぐ地域に変えて行くかということに関しては、色んな知恵を出し合って考えていかなければならないことだと思いますので、このサウンディングのやり方というのは少し下地にしながら、より皆さんの意見が反映されていくような検討に繋げていけると良いと思えます。」

### ○部会長

「ありがとうございます。では、次に(4)検討事業手法について事務局より説明願います。」



(4) 検討事業手法について

・・・事務局より、資料5を用いて説明。

○部会長

「ただいまの説明内容につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」

○部会員6

「説明と前後してしまうのですが、私の認識不足で、この専門部会のなかで、現在の総合会館の存続というか、廃止ではない方向性というのは検討をしないのか。というのは、基本的には取り壊しが前提の話合いの進め方をしていくのか、それとも、現在の総合会館を何らかの手法で10年なり20年なり、今後残していくというような方法の検討も含めるのかおききしたいのだが。」

○事務局

「先程部長からも担当者からも色々話があったと思いますけれども、総合会館に関して言えば、ステップ1、2と分けたなかで、市としては市に3館の必要性ということを見ると、3館は必要ないでしょう。ステップ1のところの段階としては、日光総合会館と藤原総合文化会館については、廃止をして、とりあえず今市でつないでいて、新たな文化会館をどういう風に考えるかというのが、市としての考え方になりますので、今回の専門部会につきましては、先程お話ししました、自治会長会の方から跡地利用についての要望ですとか、そういったこともございますので、廃止については、廃止するのか、残すのか、例えば耐震化しても10年後には同じ話をしなくてはならない、であれば、廃止をしてその後をどういう風な使い方をしていくのかということはこの専門部会の中では検討していただきたいと市としては考えております。」

○部会員6

「個人的な考えなのですが、もし耐震をして10年、20年延すことが出来るのであれば、壊すことは簡単ですが、後になって残しておけば良かったという議論が今後出ないとも限らないと考えていまして、であれば、今ある総合会館を残した場合のコストですとか、その辺をもう少し、先程他の委員さんからもありましたように、詳細な部分を出してもらえれば、場合によったら、残して10年、20年後に検討という事は当然あり得るんですが、その辺も一つの疑問として、資料なりが必要なのではないかと思うのですが。もし存続させる場合はこのくらいコストがかかるというものを示していただいて、結果的にとりこわした方が良いという答えであれば良いのですが、最初から取り壊しありきであるとちょっと疑問が残りますので。その辺ご検討いただければと思います。」

○事務局

「今後の利活用というところを検討する上で、その辺の数字は次回合わせてお示しするようにいたします」

○部会長

「それを含めまして、この次の課題になるかと思いますが、具体的に一步一步進めていかななくてはならないかなと思います。次回からの会議は大変なものになるかと思っております。その他委員さん方からございましたら。」

○部会員1

「先程市の直営ではなくて、民間と併用してということなのですが、それは、コスト面というか市の方の財政的にはどうなのか。」

○事務局

「指定管理という手法に限らず、公民連携の手法にも色々ありますので、次回以降公民連携の手法のなかでもどういったものが相応しいのか考えていかなければならない話ですが、例えば、今の指定管理のやり方は市が建て屋を造って、管理運営を振興公社とか、手をあげた民間事業者さんをお願いして管理運営をやっていただくと言うのも公民連携の一つですけれども、民間事業者

の方が建屋を造って、その運営に指定管理という手法を入れて行くという方法も公民連携の手法の一つであります。この辺は私どもよりもアドバイザーの先生の方が詳しいかと思えますけれども、その辺でどういった方法がより相応しいのか、それとも市が直営でやった方が良いのかは、数字を示しながら検討していければと考えているところです。」

**○部会長**

「その辺が一番重要な議論になるのかと思っております。今まで色々説明を受けたのですが、総合して、ご質問、ご意見とかありますか」

**○部会員 1**

「現在の指定管理の方式だと、市の方には全くお金は入ってこないということなのですか」

**○事務局**

「指定管理でも、あの総合会館に関して言いますと、指定管理をやる条件として、売り上げから2000万円程市に納付金を納めるというのが条件になっておりますので、現状では市に2000万円入っているということでございます。」

**○部会員 2**

「40年後を見据えて検討していただけるということを先程お聞きしたのですが、実は私は前職が自動車メーカーに勤務しておりまして、自動車の今後のあり方なんてという話を社内でもしていたのですが、恐らく40年後、自動車の社会というのが、目先10年位は自動車社会だとは思いうので駐車場で良いと思うのですが、その後どう活用していくのかと言うのは、視点を視界に入れて検討しないと、また負の遺産になっても困るので、そういう活用方法も、今後社会がどうなっていくのかとこころまで考えてやっていただければと思います。」

**○事務局**

「貴重なご意見ありがとうございます。次回数字を示したなかで、改めてそういったご意見等々いただきながら検討していければと思いますので、その辺は次回以降の利活用のところで改めましてご意見としていただければと思います。」

**○部会長**

「それでは、これでよろしいでしょうか。(1)から(4)までの議題につきまして、他にないようですので、これで閉じたいと思います。長時間ありがとうございます。事務局にお返しいたします。」

**○事務局**

「ありがとうございました。事務局より連絡事項・・・次回以降の会議開催日程の連絡」  
では、以上を持ちまして第一回日光総合会館検討専門部会を終了させていただきます。」

以上